



REPORT

2021

東海興業 CSR報告書 2021

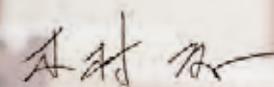
TOKAI KOGYO

TOP MESSAGE

トップメッセージ

新たな価値を創造しつづけ くらしを豊かにするとともに 社会の調和と 地域環境に貢献

取締役社長兼CEO



新型コロナウイルスによるパンデミックの中、皆さまにおかれましては、日々の感染対策で心身ともに疲労が蓄積していることと推察いたします。一日も早くこの感染症が収束することを、皆さまとともに願うばかりです。

当社は『ESG』（環境・社会・ガバナンス）を強く意識しながら、事業の社会的意義と成長の持続性に優れた企業を目指しています。その一環として、国連が提唱する持続可能な開発目標『SDGs』に貢献すべく、自治体とも連携を取りながら、より豊かな社会の実現に向けた活動を継続して推進しています。

また、中長期経営方針の中では2050年のカーボンニュートラルに向けて、『3つの新への挑戦』（新技術・新分野・新顧客）を掲げ、すべての従業員が一丸となって課題解決に取り組み、グループ全体の持続可能な成長と、企業としての付加価値を向上させるとともに、すべてのステークホルダーに求められ続ける企業を目指しております。

コロナ感染症収束までには長い道のりが続くと思われませんが、今後も感染拡大防止に留意しつつ、社会的自覚と責任のもと、より一層企業価値の向上に繋がる活動に取り組み、事業を継続してまいります。

企業方針

社是

わが社は研究と創造とにはげみ よい製品によって社会に貢献し社業のたゆみない進展をめざす

開発: つねに時流に先んじアイデアと時間を尊重する
和親: 誠実と信頼により明朗と協調とをはかる
感謝: 反省を進取の糧(かて)とし勤労のよろこびに生きる

経営基本理念

会社の使命

新しい価値を創造して、お客様の信頼・社会への貢献・従業員の幸せ確保を果す

経営の方針

- 1.内外の法を尊重し 社会から信頼される企業市民をめざす
- 2.品質至上主義で 世界のお客様に満足を提供する
- 3.商品と工法の開発で 住みよい地球づくりに貢献する
- 4.情報技術を駆使して 経営効率を上げる

社員の行動

- 1.狙いを定めて スピーディーに行動
- 2.自己を磨いて 明日に挑戦
- 3.正しく 明るく 元気よく

CSR方針

私たちは、経営基本理念にもとづきCSR方針を制定しました。

- 1.国の内外を問わず、人権を尊重し、すべての法令、国際ルールおよびその精神を遵守し、高い倫理観をもって健全な企業活動を展開していきます。
- 2.事業活動を通じて社会からの信頼と期待に応えることにより、各国・各地域の発展ならびに持続可能な社会の実現に貢献します。
- 3.ステークホルダーの期待に応える事業活動を実践するにあたり、企業行動の規範となるべき「CSR方針」を定め、経済・環境・社会との調和を保ち、共存共栄を実現します。

SDGsへの貢献

持続可能な開発目標(SDGs)は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。

東海興業は、SDGsの達成に向けた役割にコミットし、事業を通じてサステナブル企業をめざした活動を推進していきます。



CONTENTS

- 01 TOP MESSAGE
- 03 特集1
対談: 木村CEO×岡村市長
大府市の取組みに対する東海興業の貢献
- 07 社会
- 16 環境
- 19 ガバナンス
- 22 エンゲージメント
- 23 特集2
withコロナからafterコロナへ
- 27 会社紹介
- 29 東海興業のCSR活動とSDGs
- 30 ガイドライン・第三者意見

編集方針

「CSR報告書2021」は東海興業が果たすべき社会的責任と、社会課題の解決のために行っているさまざまな取り組み成果をESG:環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)に分類してステークホルダーの皆様にお伝えし、当社の活動に対する理解を深めていただく事を目的に発行しています。

Special feature-1

特集①

対談：木村CEO×岡村市長

岡村市長 「健康経営優良法人2021」の認定、おめでとうございます。大府市に本社を置かれている貴社がこのような認定を受けられたことは、「健康都市おおぶ」を掲げる本市としても大変よろこばしいことと思っています。

木村CEO ありがとうございます。当社ではトヨタ関連部品健康保険組合が推進している「ヘルスマチャレンジ」に取り組むとともに、2014年から本格的に推進しているCSR活動の中で従業員の健康維持・増進を重要な項目として認識してきました。今回認定していただいた健康経営優良法

人というのは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考えて戦略的に実践するという「健康経営」の考え方にもとづいて日本健康会議から顕彰された法人です。これまで当社なりに取り組んできたことを全国的な基準で評価してもらおうと思って申請しましたところ、健康経営優良法人に認定していただけたのでうれしく思っています。

岡村市長 本市では1987年に「健康づくり都市宣言」をし、2006年にはWHOが提唱する健康都市の集合体である「健康都市連合」に加盟するなど、市政の根幹に健康というものを位置づけてきました。同時に地域スポーツが盛んだった本市では、スポーツ振興と健康増進が市民主体で進められてきたという歴史があります。現在、20年2月に策定した「第6次大府市総合計画(2020年から2030年までの計画)」(以下「総合計画」)を推進していますが、施策に関連するSDGsのゴールのアイコンを表示して、SDGsに沿ったまちづくりを打ち出しています。そうした取り組みが評価され、日本経済新聞社が行ったSDGs先進度調査では、

5万人以上10万人未満の自治体で1位となりました。

木村CEO 全国で1位というのはすばらしいですね。当社のバドミントン部はS/Jリーグ1部に所属しており、「大府市少年少女バドミントン教室」で子供たちの指導を担当するなど、地域のスポーツ振興にご協力させていただいています。また、大府シティ健康マラソン大会も協賛をさせていただいています。大府シティ健康マラソン大会には、当社のマラソン同好会のメンバーも参加しており、地域でスポーツを楽しむ機会が得られています。

岡村市長 総合計画では「豊かで健やかなスポーツライフの創出」を掲げており、総合型地域スポーツクラブ「OBUエニスポ」や「大府市スポーツ少年団」などの活動を推進しています。スポーツ振興は健康長寿社会の実現、そして子育てしやすい環境づくりにもつながる施策だと考えています。

『いつまでも住み続けたいサスティ 健康経営企業』

名古屋市に隣接する都市でありながら豊かな自然に恵まれ自動車関連産業が盛んな大府市は古くから市民の健康づくりに取り組んできました。2020年はその取り組みが高く評価され日本経済新聞社のSDGs先進度調査(5万人~10万人未満の都市部門)で全国1位になりました。そんな大府市で操業し来年75周年を迎える東海

東海興業株式会社 取締役社長兼CEO

木村友一



健康経営優良法人2021認定証



木村CEO 子育てしやすい環境づくりということで言いますと、当社では産休・育児休業制度の取得を奨励し、産休・育児休業を取得した従業員の全員(100%)が職場に復帰しています。また、小学校3年生に進級するまでは時短勤務制度を取得できるようにして、育児と仕事の両立をサポートしています。

岡村市長 それはすばらしいですね。本市でも総合計画で「保育園の公立と私立の適正配置による待機児童ゼロ、安心して子育てができる環境づくり」を推進していますが、保護者が働いている場合は保育園、幼稚園への送り迎え等で企業の理解が不可欠です。時短制度の充実はそうしたニーズに対応したものだと思います。従業員の健康増進や子育て支援に熱心な会社が増えることは本市としても好ましいことです。働きやすい職場、子育てしやすい職場が実現することで、子育て世代が働きやすくなることは地域の活性化にもつながると考えています。

木村CEO 当社の場合は本社工場の従業員の35%が大府市内を含む、本社から10km圏内の地域から通勤しており、地域の雇用創出に一定の貢献ができていたのではないかと考えています。また、本社10km圏内の通勤者が多いことで、災害時にも自宅と会社の往復がしやすく早期の復旧が期待できるとともに、大府市の本社を起点に地域との連携もしやすいと考えています。

岡村市長 コロナ禍によって、健康を含む安心・安全に関する関心が高まっています。安心・安全な社会の実現を考えると、SDGsの考え方は非常に参考になります。先ほど言いましたとおり、本市では総合計画の策定にあたって、SDGsの視点を全面的に取り入れました。自動車産業は100年に一度の変革期にあると聞きますが、基幹産業である製造業が盛んになることで、他の産業分野にも良い影響があることを期待しています。

木村CEO 岡村市長のおっしゃるSDGsに加えて、自動車業界ではCASE(Connected:コネクティッド、Autonomous/Automated:自動化、Shared:シェアリング、Electric:電動化)というコンセプトがクルマ社会の新しいあり方を示すものとして理解されています。当社では、SDGsやCASEを実現する社会に貢献できるよう、技術開発を継続し、製品開発や生産方式の革新に取り組んでいます。

岡村市長 本市は昨年9月に市制50周年を迎えましたが、サステナブル健康都市として次の50年の発展をめざしていきます。

木村CEO 当社も良き企業市民としてSDGsの視点を取り入れつつ、従業員の健康管理を含め、働きやすい職場づくりをめざしていきたいと考えています。

ナブル健康都市おおぶ』に貢献する 「東海興業」

興業は、健康経営優良法人(大規模事業所)に認定され従業員が心身ともに健康で働ける職場環境を提供しています。行政と企業がともに健康づくりに取り組むことで「住み続けたい」から「住み続けられる」サステナブル健康都市おおぶの実現に向けて、大府市の岡村市長と木村CEOのお二人に語っていただきました。

愛知県大府市 市長

岡村 秀人



健康都市おおぶのモニュメント

Special feature-1

特集①

大府市の取組みに対する
東海興業の貢献



『いつまでも 住み続けたい サスティナブル健康都市おおぶ』に 貢献する健康経営企業「東海興業」



大府市プロフィール

愛知県西部知多半島のつけ根に位置する、面積33.66平方キロメートル、人口92,937人('21/2月)の都市。名古屋高速、名二環、伊勢湾岸自動車道のジャンクションやJR大府(東海道・武豊線)駅など交通の要所として、また、自動車産業を中心に発展している。スポーツでは、女子レスリング・柔道・バドミントン・野球などが盛ん。

SDGs先進度調査

日本経済新聞社が、隔年で実施する調査で全国の市区がSDGsの実現に向けた取り組みを「経済」「社会」「環境」のバランスが取れているかを評価。第2回が2020年秋に行われ、大府市は5万～10万人未満の都市で全国トップ、全体でも17位になった。



子どもが輝くまち

大府市

妊娠・出産から育児までの切れ目のない子育て支援施策や地域で支える支援の推進



東海興業の貢献

産休・育休制度の充実 8ページ参照

100%復職



時短勤務制度の拡充 8ページ参照

小学校3年生進級まで

活力とにぎわいがあふれるまち

大府市

基幹産業である製造業の育成支援と雇用環境の整備



東海興業の貢献

雇用による地域貢献

本社従業員の通勤距離10km圏内35%

従業員の能力開発と人材育成 10ページ参照

能力・キャリア開発の場を提供



大府市
住みやすいまちづくり



東海興業
働きやすい企業づくり



**いつまでも
住み続けられるまちへ**

| ころもからだも元気に過ごせるまち |

大府市

住民が健康づくり・文化活動・スポーツなどに取り組み、心身のバランスがとれた健康的な生活が送れるよう様々な施策を実施。



東海興業の貢献

バドミントン部によるジュニア育成 14ページ参照

大府市少年少女バドミントン教室



各種協賛活動 13ページ参照

大府シティ健康マラソン
大府市少年少女発明クラブ

| 安心安全に暮らせるまち |

大府市

地域ぐるみの防犯・交通安全対策を推進し、誰もが安心して安全に暮らすことができるまちづくりを推進



東海興業の貢献

防犯CSR推進宣言

全国防犯CSR推進協議会議に賛同し活動に参加

交通安全立哨

交通事故死ゼロの日の朝に工場入口で立哨



| 環境にやさしい持続可能なまち |

大府市

次世代に継承できる持続可能な地域と自然が共生する快適なまちづくりを推進



東海興業の貢献

工場周辺の清掃活動

従業員による美化活動実施



各種法令の遵守 19ページ参照

社内規定の理解度確認や
コンプライアンス相談窓口の設置

働きやすい職場 いきいきとした職場

【従業員とともに】
サステナブルな企業づくりと職場づくり

「会社の持続的成長」と「従業員の満足度向上」の両立により、働きがいのある職場環境をめざし、生活の質を高め、モチベーションの向上や個々人の成長を実現します。



活動の特長

当社では従業員を第一に考え、ワークライフバランス・ダイバーシティ・安全衛生・人材育成・風通しの良い職場・健康増進など、従業員一人ひとりの能力が最大限発揮できる職場づくりを進めています。

ワークライフバランス



働きがいと継続的な能力向上のために、ワークライフバランスの推進

▶ 労働時間の適正化

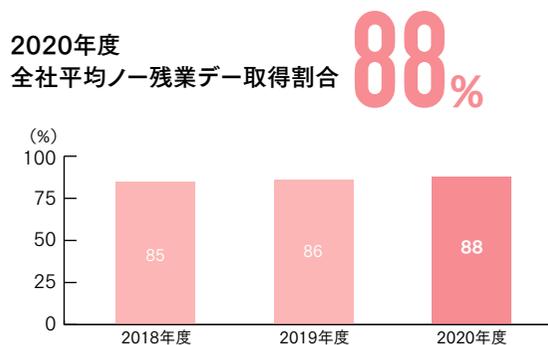
● 残業時間

一人ひとりが能力を発揮できるよう、ワークライフバランスに配慮した、職場環境づくりに努めています。法令を遵守した勤怠管理と管理職対象の労務セミナーを開催しています。



● ノー残業デー取得推進活動

週に一日、計画的にノー残業デーを設定し、定時退社する活動を推進しています。従業員の家族団らん、コミュニティへの参加、自己啓発などに取り組む一助となっています。



▶ 有給休暇の取得

有給休暇の取得向上をめざし、取得のフォローを行っています。また仕事の効率化、稼働の平準化をはかり、休暇の取りやすい職場環境へと改善を進めています。更なる取得日数の向上に向け、活動中です。



▶ 在宅勤務

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため導入した在宅勤務ですが、現在は、従業員の多様なライフスタイルへの対応、ワークライフバランスの推進をはかっております。

サステナブルな取組み

当社のめざすワークライフバランスは、業務の効率化による企業の持続的な成長とそれにより創出された時間による余暇の充実と考えており、業務効率改善活動を推進すると同時に、在宅勤務、オンライン会議、育児制度など多様な働き方を後押しするしるしを拡充します。



産休、育休取得

産休、育休取得後の復職においては原則、休暇前職場の配属としています。また、子育てとの両立を考慮し、小学校3年生進級までの時間短縮勤務が可能で、働きやすい職場環境となっています。

2020年度 復職率 **100%**

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
育児休暇	5人	1人	3人	2人
復職率	100%	100%	100%	100%
時間短縮勤務者※	3人	4人	2人	2人

※育児休暇終了後の勤務時間を、通常時間よりも短縮して勤務ができる制度。

VOICE

産休・育児休業制度を利用し、元の職場に復帰しました。現在は、周りの方のお力を借りながら時短制度を活用して、育児と仕事の両立をしています。



営業部 有田 侑希さん

TOPICS 食堂リノベーション

美味しさとともに健康な食事の提供

凄腕料理人が考案したメニューをその場調理でヘルシーかつ食材にこだわり提供



ホスピタリティへのこだわり

経産省『おもてなし企画認証』認定スタッフによるきめ細かなサービス



徹底した衛生管理

HACCP導入による美味しさと安全性の両立



オーダーメイドの食で喜びと感動を届けます

当社は『LEOC』によるフードサービスを通して、従業員一人ひとりのニーズに対応したオーダーメイド型食事メニューを提供。健康・カスタマイズ力・衛生管理・ホスピタリティ・地球環境への貢献をベースとした企業との連携を通し、一人ひとりの健康とサステナブルな社会の実現に貢献します。

カスタマイズ力

スペシャルメニューやイベントで食の喜び、オーダーメイドのサービスを提供



地球環境に配慮したサステナブルな取組み

フードロス低減する食事数量の管理や地産地消で地域貢献



ダイバーシティの推進



多様性の尊重と取り組み

女性の活躍

管理職を含む多くの女性が研究、設計などの開発部門や、営業、海外事業などの管理部門、検査・加工などの製造部門で幅広く活躍中です。

女性管理職 **2名** 女性係長 **4名**

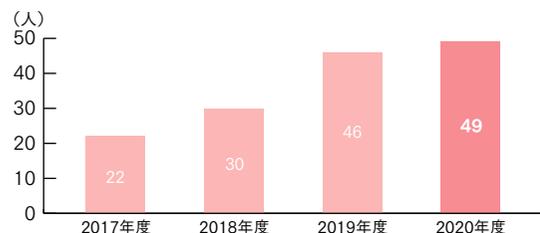
正社員に占める女性比率



シニア層の活躍

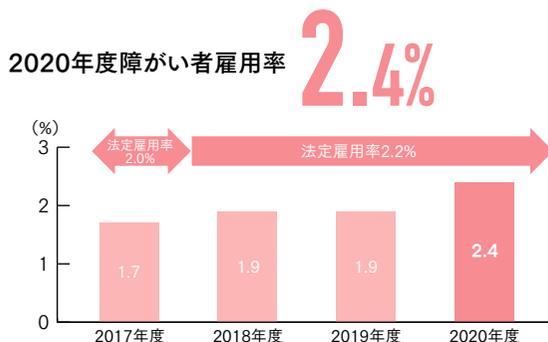
毎年、再雇用希望調査を実施し、ライフプランに合わせた雇用を実現しています。

2020年度再雇用人数 **49名**



障がい者雇用の推進

採用活動の積極的な取り組みにより、法定雇用率を超える障がい者雇用を達成しました。

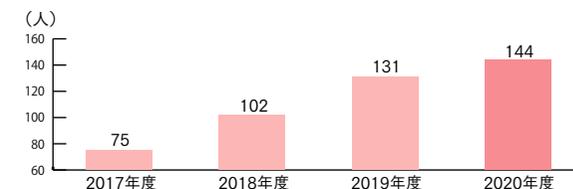


国境を越えた人材の採用と育成

経営のグローバル化に向け、世界で活躍する人材の育成にも注力しています。

正社員 **10名** エンジニア **2名**

外国人労働者人数(技能実習生含む)



TOPICS

障がい者農業就労支援プラン

障がいを持った方が「安心、安全」に社会参加できる職場を提供するため株式会社エスプールプラスが運営する貸し農園(2020年2月オープン)への参加を決定し、障がい者の方を直接雇用しています。現在、6名の障がい者の方と2名の管理者の方が就労しております。



VOICE

外国人従業員として新しい労働環境に不安がりますが、上司や先輩の協力を得る言葉の壁を感じずに業務を行なっています。

As a foreign employee, it is very difficult to adjust in the new working environment. However, with the co-operation of boss and seniors I am working without the feeling of language barrier.



研究開発部 カニヤ サラマ エリザさん

人材育成

従業員の能力開発と人材育成

▶ Skill Up Caféプラン

当社は従業員の自己啓発を支援するために、能力・キャリア開発の場を提供する『Skill Up Caféプラン』を設けております。新入社員から管理職にいたるまで、様々な教育プランを整備して、従業員に提示しております。

Skill Up Caféプランイメージ



VOICE

原価企画をテーマとした教育に参加、難易度が高く理解するこじが大変でしたが、受注可否判断が明確になり業務でも活用し、自身のスキル向上も実感しています。



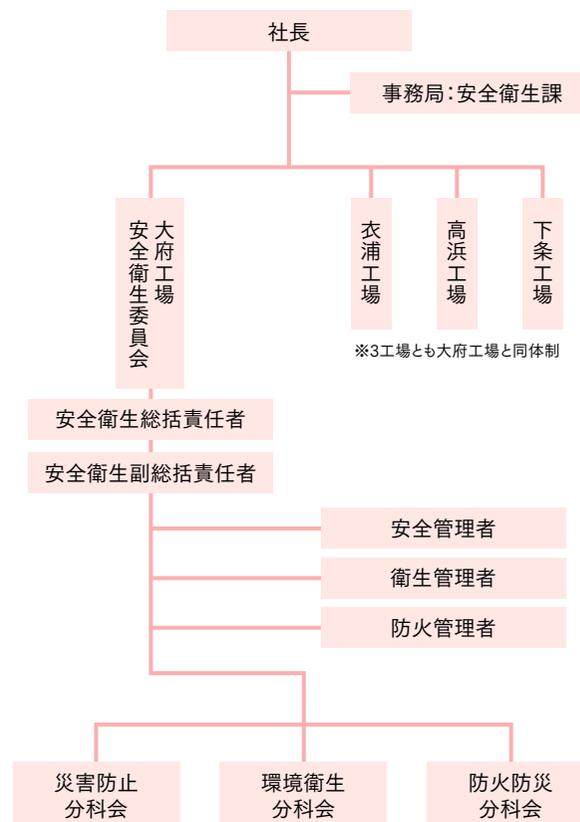
ウレタン事業部 斉藤 誠二係長

労働安全・衛生

安心して働ける職場をめざして

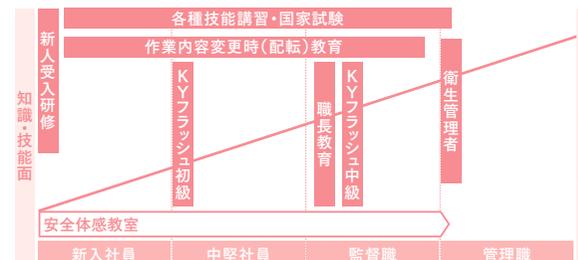
▶ 労働安全衛生マネジメントシステム

当社ではものづくりを支える職場の安全衛生活動を活発に行い、従業員が安全かつ安心して業務に従事し、個々の能力が充分に発揮できる職場環境を提供することが重要と考えています。



● マネジメント

現場のキーマンとして、安全管理者の育成を実施



● リスクアセスメント

定常作業はもとより、トラブル対応など非常作業で作業者の安全が確実に守られるような取組みを行うとともに、持続可能な安全職場のため、リスクアセスメント対策の検証と改善を行い、将来にわたり安全文化の周知、定着をはかります。



● 安全教育・安全体感



若年層の安全教育強化に加えて、安全風土醸成やTAES※周知徹底など、安全に対する意識を高めるための活動を継続的に実施します。

安全体感教室では模擬的に危険体験することで危険感受性を向上させています。

※TAESは当社安全基準で(TOKAI ANZEN EISEI STANDARD)の略

健康経営・職場環境の整備



社員の健康維持活動と風通しの良い職場風土をめざして

健康経営

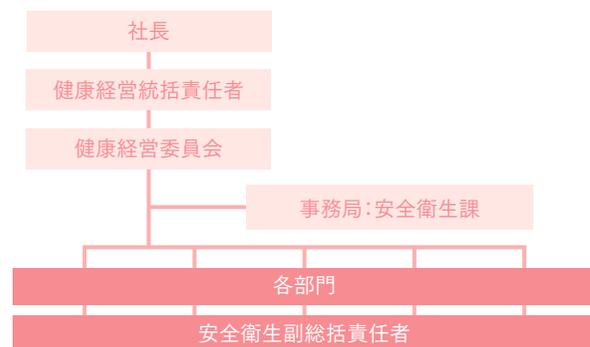
健康経営優良法人2021認定



健康経営方針

『経営理念』を実践して、商品の開発による住みよい地球づくりに貢献し品質至上主義で世界のお客様に満足を提供するには、社員自身が健康であることが不可欠であり、健康でなければ、お客様の信頼を得ることができません。当社は、会社の成長を支える社員とその家族の心身の健康を重要な経営資源のひとつと捉え、健康維持・推進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進によって、社員がいきいきと豊かで快適・健康な社会生活と経済の発展に貢献する会社をめざします。

健康経営推進体制



メンタルヘルス

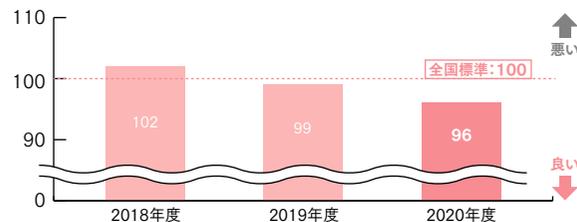
ストレスチェック

年に1回メンタルヘルス不調の未然防止を目的にストレスチェックを実施しています。セルフケアとしてカウンセラー相談を開設、集団分析結果をもとに管理職に対してラインケアのアクションプランを実施しています。

ストレスチェック診断受検率

100%

健康リスク(スコア)



ハラスメントの無い職場

パワハラ・セクハラのない職場づくりのため、階層別のハラスメント教育を実施しています。さらに外部に相談窓口を設置し、いつでも相談できる環境を整えています。

サステナブルな取組み

当社では「健康スローガン」を【社員と家族の健康を大切なマネジメント】と位置づけ①心の健康②健康的な生活習慣③大切な「家族」を重点取組み事項とし従業員の活力向上による企業の持続可能な成長をめざします。

健康診断

従業員の心身の健康を維持することを目的として、年1回の定期健康診断を実施しています。がん検診および採血検査を行い、生活習慣病予備群に対しては、保険指導をするなど、健康増進をサポートします。

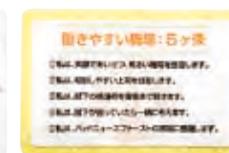
定期健康診断受診率

100%

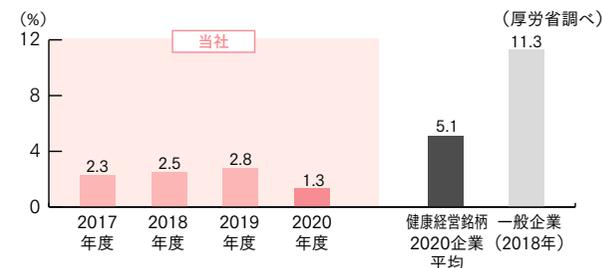
働きやすい職場

なんでも言いあえる風土

風通しの良い職場をめざして、管理職を対象に何でも言いあえる風土づくり宣言をしています。その結果、離職者が減少、健康経営銘柄2020の5.1%を下回る1.3%の離職率にとどまっています。



離職率の推移



サステナブルな ものづくりと調達活動

【仕入先様への取り組み】

持続可能な調達活動に向けて、公正な取引

当社はオープンでフェアな取引を行い、それによって仕入先様との共存共栄をはかるとともに、環境保全を促進する取引(グリーン購買)などを推進して環境に優しい経営を実践しています。



活動の特長

当社では、事業活動の前提として「公平・公正な企業活動」を掲げ、従業員一人ひとりがサステナブルなものづくりと調達活動に向けて、公正な取引の徹底に取り組んでいます。「仕入先様CSRガイドライン」や「グリーン購買ガイドライン」がその行動規範となっています。

サプライチェーン



持続可能な調達活動に向けて、公正な取引

▶ グリーン購買

● 環境負荷物質(化審法の第一種・二種特定化学物質及び監視化学物質)調査

当社では「グリーン購買ガイドライン」を制定し、「環境情報の開示」「特定負荷物質の非含有宣言書」など、お取引様へ、当社の環境方針に沿った原材料、部品、完成品、副資材の納入をお願いしています。

● 環境保全(対象協力工場での環境側面調査)

環境マネジメントシステムISO14001規定に基づき、対象協力工場様のエネルギー使用量や廃棄物量などの環境側面調査を実施しています。又、2020年度は当社技術課と共同で生産ロス低減活動を行ない、廃棄物削減に寄与しました。

▶ 仕入先様へのCSRガイドラインの周知

仕入先の皆様とCSR活動を推進し、持続可能な成長をはかるための模範となる「仕入先様CSRガイドライン」を制定しています。

ガイドラインでは当社のCSR方針、購買方針及び、仕入先様と共存共栄をめざしたCSR取り組み事項が記載されています。

対象企業 **100%** 周知

VOICE

仕入先様との信頼関係を大切に、
公正・公平な取引を最優先で
対応しています



購買部 中西 文香さん・植山 史子さん

サステナブルな取り組み

カーボンニュートラルへの挑戦

生産工場を再編し、材料の輸送距離の短縮や生産から加工検査の一貫生産ラインの設置によりCO₂排出の大幅削減を実現。カーボンニュートラルに貢献、サステナブルな工場運営を実施しています。

文化・スポーツを通じた社会貢献

【地域社会とともに】

サステナブル企業づくりと地域社会

企業市民として社会に貢献するため、当社では、スポーツ・文化を通じた地域貢献を重視しています。様々な地域イベントを協賛・後援することで、豊かな生活文化、持続可能な未来づくりのための青少年の健全な育成をサポートしています。



活動の特長

当社は、近江商人『三方よし』の精神にもとづき地域社会とのつながりを重要と考えています。ものづくり愛知を支える活動として少年少女発明クラブや伝統を守る行事などに協賛し、地域の産業の発展に貢献しています。

地域社会の皆さまとのつながり



▶ 大府市少年少女発明クラブ

子供たちにもものづくりの楽しさを知ってもらうことを目的としたクラブに協賛し、子供たちの夢をかなえる活動に貢献しています。



▶ 名古屋フィルハーモニー交響楽団

革新的な定期演奏会のプログラムや充実した演奏内容で地域の音楽界をリードする名古屋フィルハーモニー交響楽団を支援しています。



モータースポーツへの参加



▶ ダカール・ラリーを応援

当社は、豊かなスポーツ文化を創造し、心身の健全な発達と社会の発展に貢献するというCSR活動の理念のもとに、世界一過酷なモータースポーツ競技とされるダカール・ラリーに参加している『Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY(運営トヨタ車体様)』を応援しています。

2021年は1月3日から15日に中東サウジアラビアで開催され、市販車部門でチーム初となる8連覇を達成しました。



バドミントンで地域に貢献



当社バドミントン部は、オリンピックや国際大会などでのメダル候補者が数多く在籍する国内最高峰リーグに所属しています。男子バドミントン部が「S/Jリーグ」、女子バドミントン部が「S/JリーグII」に参戦し、好成績を残すとともに、地域の文化体育交流のかけ橋としてさまざまな活動を展開しています。

ジュニア育成

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、愛知県の高中生との練習会や地域のジュニア世代の育成活動にも取り組んでいます。

大府市の小学生を対象に、バドミントン教室を開催しました。



愛知県の高中生との練習会を実施し、お互いのレベルアップをはかっています。



大府市との関わり

男子バドミントン部が、大府市制50周年記念誌の「FUN! OBU」に掲載されました。



大府市役所入口にバドミントン部専用パネルを展示。市民の代表として応援していただいています。



メディアへの発信

新型コロナウイルスの影響により大会中止が相次ぐ中、バドミントン界を盛り上げるため、多くのメディアに登場しています。

男子バドミントン部がバドミントン専門雑誌である「バドミントン・マガジン」の取材を受けるなど、企業アピールに貢献し、注目度もアップ。



会社ホームページのバドミントン部専用サイトから大会情報やイベント情報をご覧いただけます。またBADMINTON S/J LEAGUEの公式ウェブサイトでも動画が掲載されています。



次世代に向けた モビリティへの 製品提供

原材料開発から製品企画、設計、製品製造までを一貫して社内で実施。

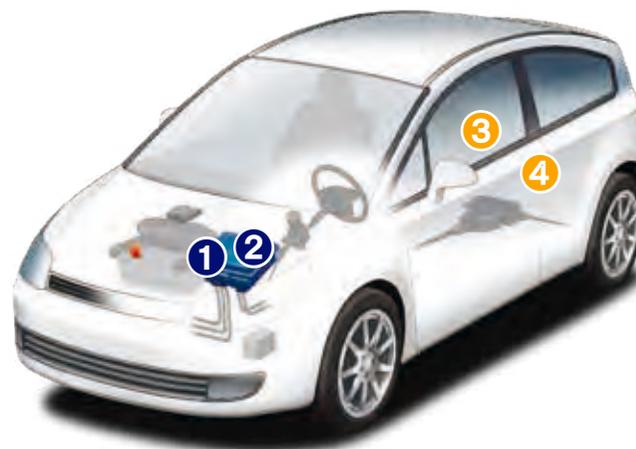
こうした独自の生産体制構築により、ニーズを先取りした他社にない高品質、高機能製品をオンライン技術・軽量化技術・高意匠技術などを駆使してお客様に提案しています。



活動の特長

当社では、新時代のモビリティ社会に貢献するため、当社独自の技術と開発力で環境に優しい高品質製品や燃費向上に貢献する軽量化製品などを提供、SDGs・CASEに寄与する製品づくりを推進しています。

SDGs・CASEへの貢献



●:CASE対応
●:SDGs対応

①リアクトル: バッテリ電圧を昇圧し、モータの能力をUPさせます

加工難易度の高い部材を世界初の特許工法「TACモールド」で一体成型し、量産することに成功しました。一体成型することでHEV車などの燃費向上に貢献しています。



②バスバー: モータを駆動させるために大電流を流す配線です

省スペース配線と製品の高精度化が必要なため、CAE解析を駆使し高精度製品を立上げました。バスバーを一体成型することで省スペース化できHEV車などの燃費向上に貢献しています。

③アウター(インナー)ウェザーストリップ (ドア窓枠下辺部に取り付くガラスを支える部品)

別工程で製品に接着加工していた植毛用パイルを、あらかじめフィルム状に加工し一体押出することで、エネルギー効率が上がりCO₂削減に寄与しています。

④シートレールカバー(シートスライドレール内に異物が入りこまないための保護プロテクター)

基材であるPPを発泡させ、意匠材との組み合わせにより、従来より傷つき性能が向上し、かつ質量が20%低減し低燃費に貢献しています。

VOICE

高機能でより軽い製品を提供し燃費を向上。線の一本にも意味のある、細部にまで気を配った設計・開発に努めています。



設計部 別所 英一係長

持続可能な社会をめざす環境対応

【環境保護への取り組み】

持続可能な社会をめざす環境対応を

当社では、「美しい地球環境の維持と企業の正しい発展と良き企業人を育成する」という環境基本方針のもと、地球温暖化対策や廃棄物の抑制等の活動を推進しています。



活動の特長

ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、全工場統一した組織体活動により様々な環境負荷低減に向けて、常に継続的な取り組みを進めています。

環境保護活動



環境方針

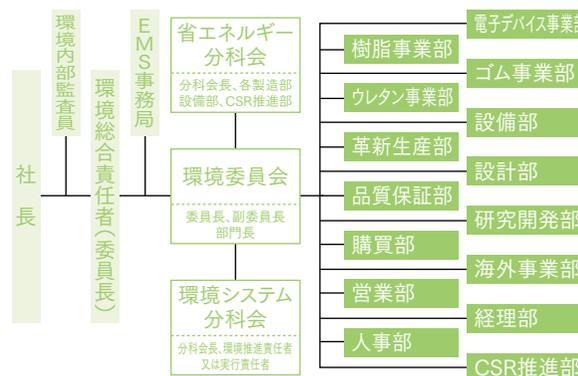
当社では、「一人ひとりが環境配慮 皆で実行 地球にやさしい生産活動」を環境スローガンとし、『東海興業環境方針』を定めて、環境保全の取り組みを推進、環境方針カードを携帯して、環境汚染の防止や廃棄物の削減など、常にものづくりの現場で環境保護への対応がなされています。

環境方針カード



環境マネジメントシステム

当社は環境マネジメントシステムISO14001を2001年に取得、環境委員会にて環境に関する方針を決定しています。各分科会で目標を定め活動を推進しています。

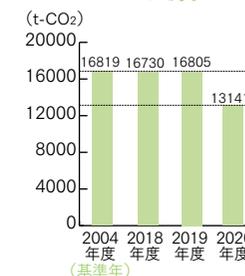


地球温暖化対策(CO₂削減)

当社は地球温暖化対策として、CO₂削減に向けて様々な取り組みを展開しています。エネルギー効率の高い省エネ設備の導入、LED照明などのエコオフィスを実施しています。今年から2050カーボンニュートラルに向けて中長期の活動を開始しました。

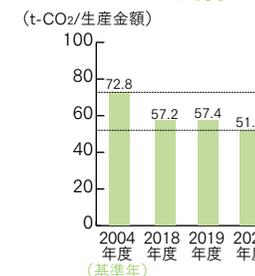
2020年度 CO₂排出量削減率

22%減



2020年度 CO₂原単位削減率

29%減



廃棄物抑制

当社の廃棄物はゴム・プラスチックが多く、削減活動は、3Rのリデュース(廃棄物をとことん減らすこと)を第一とし、リユース(材料や部品の再利用)、リサイクル(再資源化)の順で推進しています。

2020年度リサイクル率

91.8%



事業部のCSRへの取り組み

ウレタン事業部

▶ 量産立上がりロス最小化

12 つくる責任
つかり責任
∞ 生産準備活動では、材料・金型・人・条件等の多方面からみて、全セクションが量産立上がり初期からロスを最小限に抑えることを意識し、目標達成に向けたものづくりに日々取り組んでいます。



▶ 金型メンテナンス自動化

8 働きがいも
投資収益も
↑ 生産準備活動では、材料・金型・人・条件等の多方面からみて、全セクションが量産立上がり初期からロスを最小限に抑えることを意識し、目標達成に向けたものづくりに日々取り組んでいます。



VOICE

車椅子用クッションの実績を活かし、介護福祉分野の新規開発や、廃棄不良の削減可能なウレタン材料の検討をしています。



ウレタン事業部 橋本 健一さん

ゴム事業部

▶ 廃棄ロスの極小化

12 つくる責任
つかり責任
∞ ロス削減の取組みとして、長期連休での期限切れ材料「もったいないロス」対策を全課が情報共有 & 協力して廃棄量(前年比)930kg削減を達成。今後も部内全課で情報共有、協力し、ロス削減活動をスピーディーに進めます。



▶ 人と環境に優しいスマート工場

8 働きがいも
投資収益も
↑ 新開発のゴム成形機には、安全・安心・効率的なアイデアを多数採用。安全カバー自動連動化で労働災害ゼロ化、生産性向上、作業時の身体的負荷軽減を行いました。今後も働きやすい職場をめざし改善に取り組んでいきます。



VOICE

これまで製造工程で発生する原材料ロスを「産廃」から「資源」として活用できるように改善しました。今後も良い改善を行い環境負荷低減に貢献したいと思っております。



ゴム事業部 安藤 雅之さん

樹脂事業部

リサイクル工程の確立



従来、廃棄していた生産工程で発生する端材を、再度粉砕して原材料として生産工程に戻すリサイクル工程を確立しました。これにより廃棄物を大幅に削減するとともに、資源の有効利用がはかれるようになりました。



検査・加工工程自動化

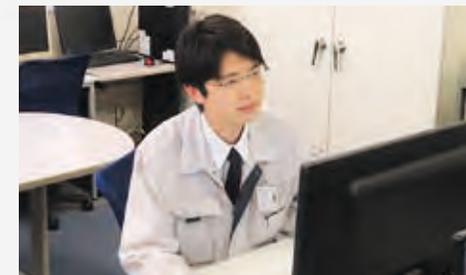


樹脂事業部では、検査や加工工程の自動化を全面的に推進しています。これにより、きつい作業や、やりにくい作業を解消し、作業者の身体的負担を軽減するとともに、より品質の高い製品を効率よく生産することを実現しています。



VOICE

金型設計・製品製作・実車検証まで一貫して新規開発活動を行います。また、事業拡大のため新製品アロシタの重要セクションに貢献しています。



樹脂事業部 二井 佑希さん

電子デバイス事業部

物流工程1WAY化



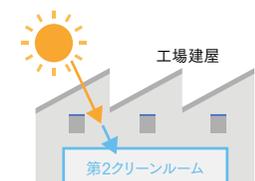
工場の入荷から出荷までの物の流れを1WAY化し、運搬トラック、集荷供給者同士の交差動線を減らし業務効率改善。また完成品への異物付着配慮した物の流れを実現しました。



生産工場の2重構造化



押し出し工場建屋内に電子デバイス第2クリーンルームを設置する事で、生産工場が2重構造となり、屋根の寒暖を受けず冷暖房電力を省エネできるように環境に配慮した生産工場にしました。



VOICE

電子デバイス事業部にかかせない、三次元測定機を用いた測定と、プログラミング機能を活用し、自動測定を行う事で、日々品質向上に貢献しています。



電子デバイス事業部 園原 慎也さん

持続可能な企業 づくりを推進

【コンプライアンス・リスクマネジメント】 サステナブル企業づくりにおける責任

当社の企業ガバナンスは、法令遵守にとどまらず、企業倫理を向上させ、それを通じてお客様の要求にお応えするという、一歩踏み込んだ活動を進めています。



活動の特長

「決められたルールを守る」というコンプライアンス中心のCSRから「持続可能性(サステナビリティ)」を強く意識したCSRへと深化しています。

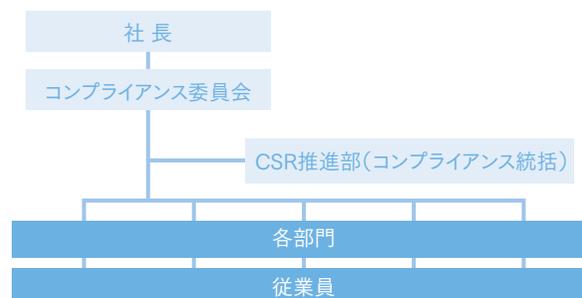
コンプライアンス



法令遵守・企業倫理の向上・機密保持などあらゆる活動を推進

▶ コンプライアンス推進体制

当社はコンプライアンスのための推進体制として各部門からなる委員会を設置、CSR推進部(統括部門)が、関連するコンプライアンスの規定、教育、監査を運営実施しています。



▶ コンプライアンス相談窓口

当社は、公益通報者保護法を遵守するべく、コンプライアンス問題に関する社員からの相談に対して通報・相談窓口を設置しています。

コンプライアンス相談フロー



▶ 倫理行動規範の制定と遵守

当社では全従業員が社会の一員として責任を担っていることを自覚して、倫理的かつ規律ある行動を推進しています。社会人として良識ある行動の基本方針をまとめた『東海興業倫理行動規範』ハンドブックは、役員および従業員が常に携帯し、当社のCSR方針を確実に実践することで社会的責任を果たします。



倫理行動規範ハンドブック

VOICE

贈収賄禁止教育を受けてから、
コンプライアンス最優先で日々の業務に
取り組むことも心がけています。



営業部 十倉 恭輔さん

CSR教育と従業員の対応力強化

従業員が自らCSR活動を考え実践する機会として、すべての従業員を対象に、年2回のCSR教育を実施しています。

21世紀を飛躍し続ける



CSR活動のイメージ図

部門別 専門教育

CSR全社教育以外にも、従業員各々の業務に、より密接に関連した分野について部門別に教育を実施しています。

- 下請け法
- 競争法・贈収賄禁止
⇒公正・公平な取引を最優先
- 知的財産権



実績(表彰)

日常の品質改善活動の証として2020年度は日野自動車株式会社様より品質管理 優良賞を受賞しました。



VOICE

開発、試作段階での部品確認及び工程検証を行い、得意先・エンドユーザーの満足のために新機種部品の立ち上げを他部署と一丸となって推進していきます。



品質保証部 北村 元人さん

品質方針

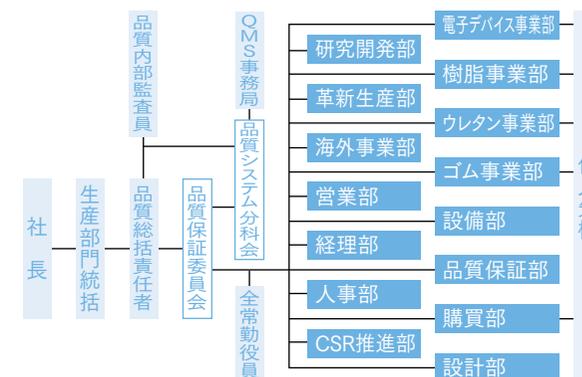
当社では品質方針カードを作成し、これを全従業員が携帯し、また、お客様、仕入先様、地域・一般の方々にも広く理解していただく方法としてロビー受付にも配備して周知に努めています。



品質方針カード

品質マネジメントシステム

当社では、ISO9001を2003年8月に取得し、現在も認証継続しています。今後も継続して活動し、品質のスパイラルアップを展開していきます。



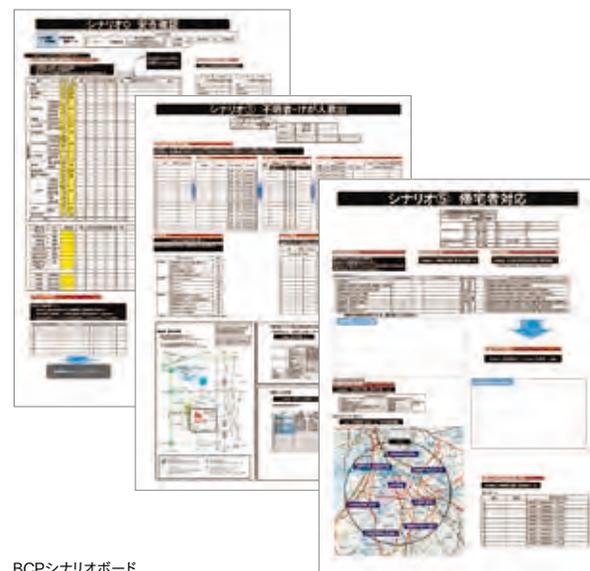
リスクマネジメント



あらゆるリスクを予防、事業の継続と安定的発展を確保

BCP:大規模自然災害

当社は大規模地震やスーパー台風などの自然災害に備え事業継続計画(Business Continuity Plan)を策定し、東南海地震を想定した初動訓練を定期的実施しています。①人命第一②生産復旧③地域支援の3つの柱を基本方針とし、初動シナリオに従って迅速かつ適確な対応と製品の供給責任を果たします。



BCPシナリオボード

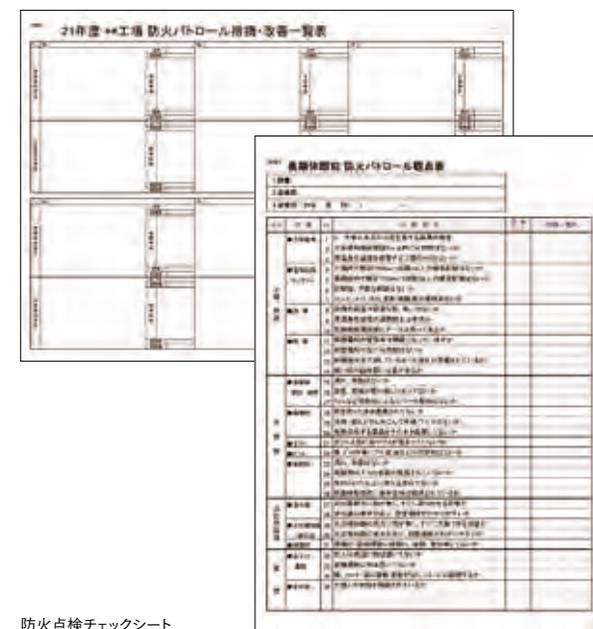
情報セキュリティ

事業活動に関わる情報資産は重要な社会資産と位置づけ情報セキュリティ保護規定を策定し運用しています。2020年度はインシデント対応として管理体制を構築し対応を強固なものとししました。



防火

火災による生産の停止はサプライチェーン全体へ影響を及ぼす重大なリスクととらえ、当社では年3回の防火点検を実施しています。その結果、火災による生産停止は発生していません。



防火点検チェックシート

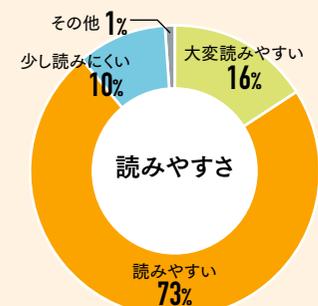
感染症(新型コロナ対策)

当社は、従業員とその家族、仕入先様、お客様、地域住民の皆様の安全と健康を第一として新型コロナウイルス感染拡大防止につとめています。国内で感染拡大局面に入った2020年3月には、いち早くマニュアルと社員の行動指針を策定し周知と遵守徹底を行いました。また当社で備蓄していたサージカルマスクを大府市に提供するなどの支援も実施しました。(取組みの詳細は特集P23～P26をご覧ください)

エンゲージメント

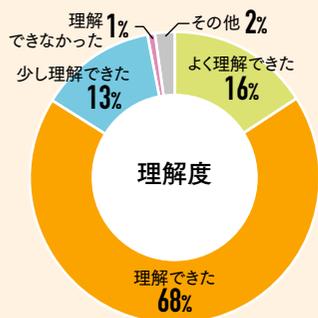
当社では、今後の活動や報告書の改善に役立てるため、CSR報告書の読者の方々に、ご意見・ご要望をいただくアンケートを実施しています。今回は東海興業CSR報告書2020について、当社の従業員およびご家族の方を対象にしたアンケート結果を報告します。

CSR報告書について



ご意見

ESGの観点に沿っており、SDGsのどの分野に該当するかわかりやすかったです。



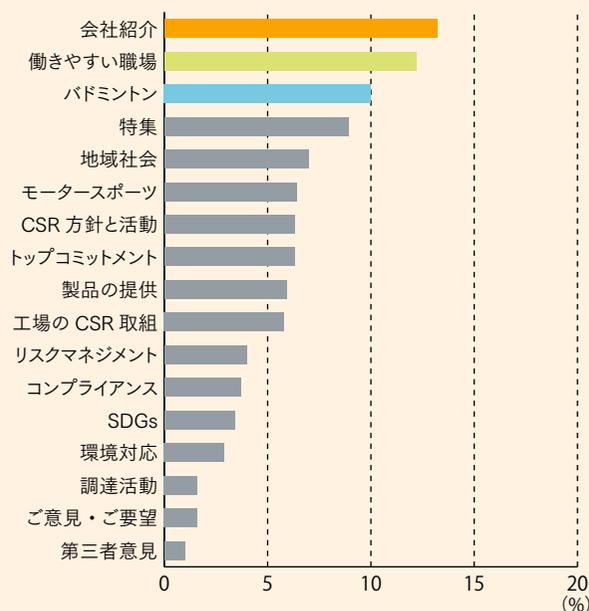
ご意見

未来構想まで触れることで、よりサステナビリティの一面を持たせられるのでは？

2021年度版への反映項目

より分かりやすい紙面をめざし、ページ構成をESGのテーマ別観点で分類し編集校正を行い、将来の「サステナビリティレポート」への移行を視野に、サステナブルな企業経営をめざす姿勢を紹介しています。また、事業セグメント別CSR取組み活動事例やトピックス記事を設けております。

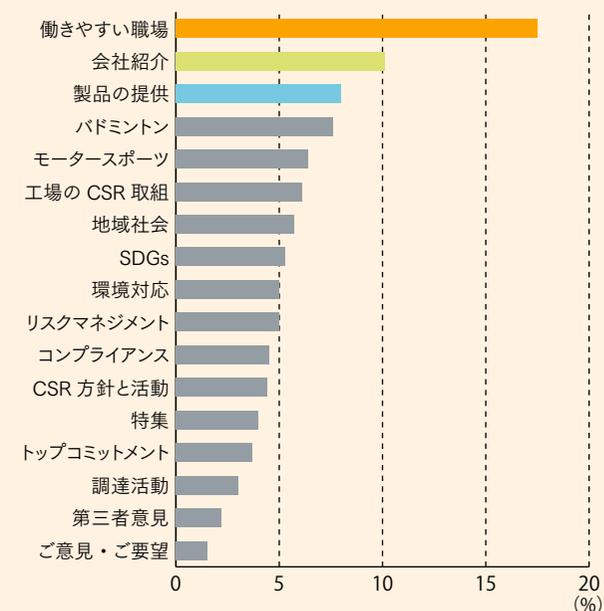
興味を持った項目について



2021年度版への反映項目

興味を持った項目の上位意見を反映して、「会社紹介」のページを、よりわかりやすくするため、国内拠点・海外拠点別に掲載しております。また、「バドミントン」では、地域貢献活動への参加に関する記事を増やしております。

もっと知りたい項目について



2021年度版への反映項目

さらに知りたい項目の上位意見を反映して、「働きやすい職場」では、ワークライフバランスに加えて、ニューノーマルに対応した在宅勤務など柔軟な働き方に関する記事を増やしております。また、「製品の提供」については、HEVなどに関わる次世代製品における開発活動のトピックスを掲載しております。

Special feature-2

特集②



新型コロナウイルス 感染予防 withコロナから afterコロナを視野に

当社では、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点より、従業員の安心安全と生産への影響や、地域その他ステークホルダーへの社会的責任を果たすために様々な取り組みを展開しています。

withコロナ／afterコロナとは

afterコロナはワクチンなどが開発され、ある程度コロナ禍をコントロールできている状況を指します。それに対してwithコロナは、コロナ禍にあってワクチンなどの特効薬がない期間を示す言葉です。

2020年3月3日

「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」
「新型コロナ対策 社員用ガイドブック」
「家族の健康管理シート」
「行動履歴の記録」
「もしもの時の相談窓口（ホットライン）24時間受付設置」
を発行。全社員が一体となり防疫活動に取り組む



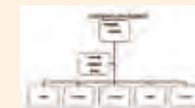
2020年4月5日

・在宅勤務、時差出勤の開始
通勤時の感染リスクから社員の身を守る目的で「在宅勤務に関する基本方針」を制定し在宅勤務を開始



2020年4月9日

・感染者情報の一元化
当社とグループ会社でコロナ感染者が確認された時、個人情報保護と迅速な対応を目的に事務局を設置して情報管理体制を構築



2020年6月

・テレワークの開始
リモートコントロール可能な通信設備を導入し、自宅から会社のパソコンを操作する業務を開始



before
コロナ



2020年3月10日

・コロナ感染防止マニュアルを
全社イントラネット掲載
イントラネット掲載によりすべての社員がいつでもマニュアルが閲覧できるようになった



2020年4月30日

・職場の消毒作業手順を制定、運用開始
コロナ感染予防のために清掃時の効果的な消毒方法を規定、消毒資材を全職場に設置、毎日2回(夜勤1回)の消毒清掃を実施し記録を残す活動を展開



オフィス入口に消毒資材を設置

2020年6月11日

・マスクと熱中症予防対策のルール制定
夏場は新型コロナウイルス感染防止対策のマスク着用による熱中症リスクが高まることから基準を制定 (WBGT: 暑さ指数が28°Cを超える職場では、作業者の間隔が2m以上確保したうえマスク不要とした) 2020年は熱中症発生0名、コロナ感染者0名



2020年7月7日

・来客時の対応規定を制定し運用開始

1. 来客者には、受付でアルコール消毒、検温を実施
2. 応接室ではアクリル板パーテーション設置
3. 商談はマスク着用
4. 訪問履歴の記録
5. 商談終了後は次亜塩素酸ナトリウムで消毒清掃



ロビー受付にアルコール消毒を設置

応接室(パーテーション)の様子

2020年7月30日

・コロナ感染者確認時の対応シナリオを策定

- 万一にそなえ、手順を明確化した
- ・感染拡大防止(行動履歴より濃厚接触者の特定、職場の消毒作業)
- ・対策本部の立上げ(情報共有、行動自粛、取引先への連絡、製品の供給など)



2020年8月5日

・夏の長期休暇対応(社員に注意喚起)

- 連休中は、不要不急の外出自粛、3密空間には立ち寄らない、マスク・手洗いの励行
- 連休明け(2日間)は、在宅勤務の推奨、会議・打合せの自粛、職場の移動禁止を徹底



2020年10月

- ・オンライン会議システム(Zoom)の導入
- Zoom導入により、いつでも、どこからでも会議に参加可能となり、会議や打合せの効率化が進む



with
コロナ

第2波

2020/6/1

2020/6/1

2020/9/1

2020/10/1

2020年7月21日

・3密回避の対応について規定策定し運用

- 密閉空間 2方向の窓を開放
- 密集場所 一人当たり3㎡の占有面積の確保を基準とした、事務所・会議室の収容人数上限を設定
- 密接場面 座席の間隔の2m確保とアクリル板シールド設置



事務所内の様子(パーテーションとソーシャルディスタンス)



食堂のテーブルは対面着座を禁止

2020年8月4日

・新型コロナ濃厚接触者の社内規定を策定し運用

- 保健所が指定する濃厚接触者を当社では1次濃厚接触者と位置づけ、連鎖的に2次、3次濃厚接触者を事前に把握することでクラスター回避対応した



2020年8月7日

・事務所・会議室の収容人数の上限を規定

- 事務所や会議室の入口に上限人数の表示板を設置して社員全員が遵守



高浜工場 事務所入口の様子

Special feature-2

特集②

withコロナからafterコロナへ

2020年11月19日

・新型コロナ感染第3波に備えた対応を職場内徹底

社員の行動として、感染防止の3つの基本（マスク・手洗い・ソーシャルディスタンス）の徹底

クラスター回避として職場の分散化、時差出勤など社員の接触を可能な限り低減



2020年12月17日

・冬の長期休暇対応(社員に注意喚起)
連休中は、不要不急の外出自粛、3密空間には立ち寄らない、マスク・手洗いの励行
連休明け(7日間)は、在宅勤務の推奨、会議・打合せの自粛、職場の移動禁止を徹底



2021年1月11日

・第3波襲来と緊急事態宣言を受け、従業員向け教育(動画)を配信

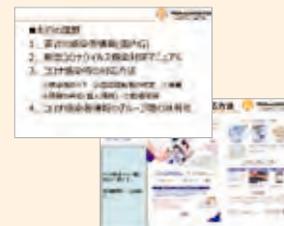
全社員が動画視聴し、感染防止徹底



2021年2月18日

・グループ会社間の情報共有開始

当社事務局からグループ会社のコロナ専任者へ情報提供や、コロナ感染の発生状況の確認など双方向コミュニケーションを開始



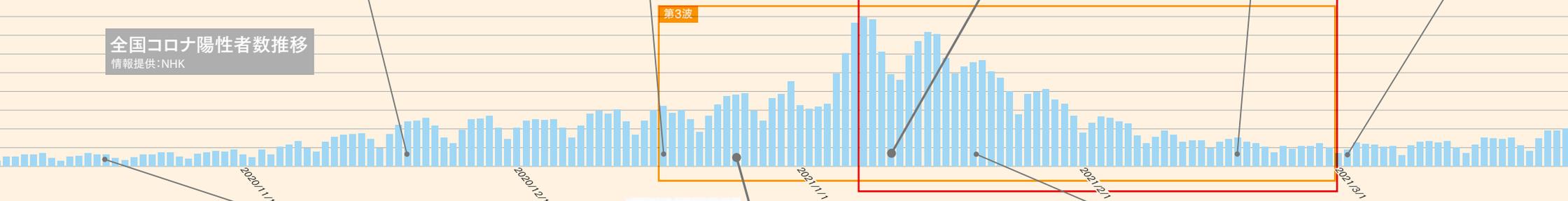
2021年3月2日

・クラスター発生時を想定して規定書を策定し万々に備える



全国コロナ陽性者数推移

情報提供: NHK



2020年10月

・コロナ感染防止対策社内アンケート実施
当社のすべての部門でコロナ感染防止実施事項(78項目)についてアンケート調査を実施、80%以上の実施率を確認し、レベルアップを展開した。



2020年12月25日

・新型コロナ感染防止唱和

「て・ま・か・け・しよう」を合言葉に感染防止を全社員一丸でとりくむ

- て: 手洗い
- ま: マスク着用
- か: 換気の徹底
- け: 検温
- しよう: 消毒清掃の実施

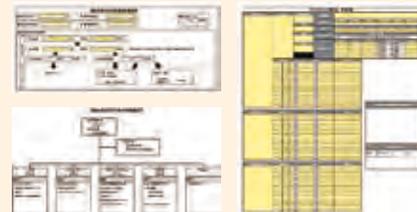


のぼり

2021年1月20日

・新型コロナ感染対策本部の設置

対策本部組織を設置、感染者管理台帳と連絡網を設定



2021年4月16日

・まん延防止等重点措置に対する来客、社員の行動注意喚起

愛知県にまん延防止等重点措置が公示されたことを受け社員に対して注意喚起実施



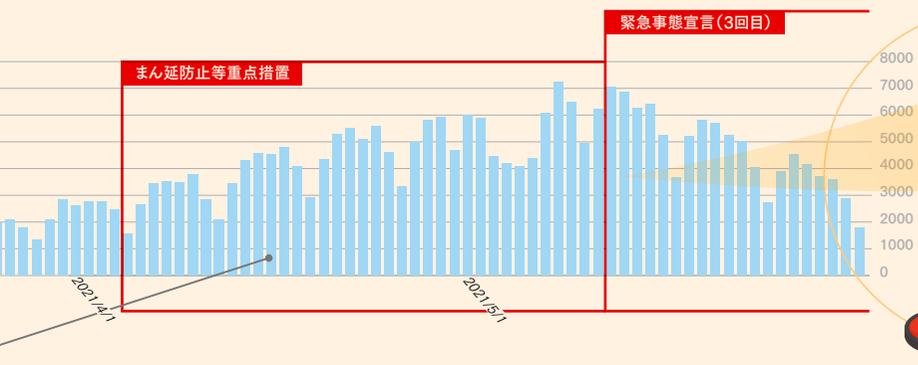
TOPICS

地域貢献

地域貢献の一環としてサージカルマスクを大府市へ提供しました



左:木村CEO 右:大府市 岡村市長



公表

当社のコロナ感染者(2021年5月31日まで)状況

- ケース1** 2021年1月20日(1名)
濃厚接触者2名を特定し14日間の自宅待機
生産ラインは消毒を実施し生産継続
- ケース2** 2021年5月19日(1名)
濃厚接触者5名を特定し14日間の自宅待機
オフィスは消毒し業務継続
- ケース3** 2021年5月21日(1名)
濃厚接触者は0名
生産ラインは消毒を実施し生産継続

afterコロナでは会議のスタイルがWEBによるオンライン化へシフトし、移動時間の短縮やPCがあればどんな場所からでも参加できるというメリットがあります。当社では対面からオンライン会議へ積極的に切り替えると同時に、情報伝達型から情報交換型ミーティングへ会議のレベルの向上をはかります。



対面会議から
オンライン会議へ

afterコロナでは、人と人との接点において対面からデジタル化(オンラインやWEB)への切り替えが加速されます。当社ではデジタル化に着眼しDX(デジタルトランスフォーメーション)に着手することでビッグデータやIoTを活用した高度で効率的な業務や自動化を目指します。



DX推進
(デジタル・トランス
フォーメーション)

東海興業が 今後取り組む ニューノーマルの 働き方

after
コロナ

業務簡素化・
業務効率改善

従業員の
ライフスタイル
変化に応じた
働き方改革



afterコロナではオンライン化により、移動時間の短縮、会議室の縮小など様々な業務の効率化をはかることができます。当社では『や・か・ま・し・い※』をキーワードに、業務効率改善活動や電子決裁導入の検討などに取り組んでいます。

afterコロナでは在宅勤務などにより柔軟な働き方が主流になるといわれています。在宅勤務とは、勤務先(オフィス)に出勤せず、自宅で就業する働き方のことです。当社もこの取り組みを推進し従業員のワークライフバランスの充実をはかることで従業員満足度の向上による仕事の質や生産性をあげる活動を実施していきます。

※「や・か・ま・し・い」とは…業務改善の切口として

- 「や」⇒やめる(不要な仕事をやめる) 「か」⇒かんたんにする(複雑な業務を簡単にする)
 - 「ま」⇒まねる(他の業務に水平展開する) 「し」⇒してもら(業務を平準にする) 「い」⇒いっしょにする(複雑な業務・資料を一つにする)
- をキーワードに取り組むこと

COMPANY PROFILE

会社紹介

当社は無機・有機材の複合成形の専門メーカーとして、材料開発から製造、販売まで一貫した体制で、世界中のお客様に満足と信頼を提供します。

会社概要

東海興業株式会社(TOKAIKOGYO CO.,LTD.)

愛知県大府市長根町四丁目1番地

TEL:0562-44-1500 FAX:0562-44-1590

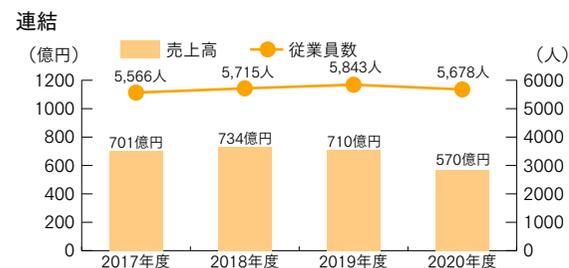
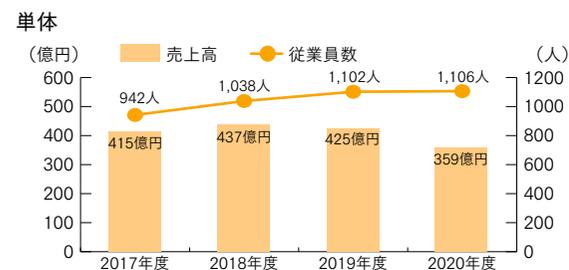
資本金/3億135万円

設立/1947年3月31日

決算/3月

事業内容/自動車用樹脂・ゴム・シート部品、車載電子部品、
建材用部品およびその関連商品の製造販売

従業員・売上推移



海外拠点



技術供与先



ネットワークで

海外拠点7カ国

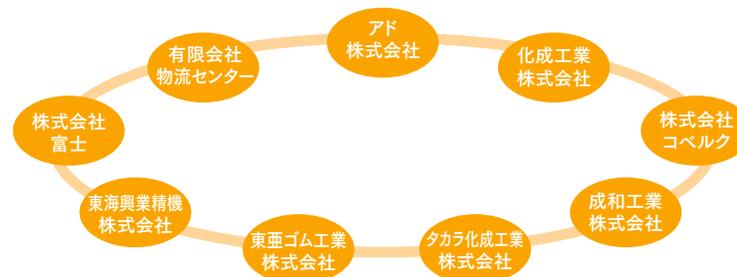
国内拠点



つながり生産体制

国内拠点5カ所
国内営業所5カ所

● 関連会社



▶ 主要取引先

株式会社アイシン、いすゞ自動車株式会社、株式会社岡部新電元
スズキ株式会社、積水ハウス株式会社、ダイハツ工業株式会社
株式会社デンソー、トヨタ自動車株式会社、株式会社豊田自動織機
トヨタ車体株式会社、トヨタ紡織株式会社、日産自動車株式会社
日産車体株式会社、日進医療器株式会社、日本電産エレシス株式会社
日野自動車株式会社、本田技研工業株式会社、マツダ株式会社
三菱自動車工業株式会社、三菱ふそうトラック・バス株式会社
レカロ株式会社、株式会社LIXIL [50音順]

CSR活動とSDGs

SDGs	当社の取り組み	ページ
元気で強い会社づくり 	【社会】ワークライフバランス	7~8
	【社会】ダイバーシティの推進	9
	【社会】人材育成、労働安全・衛生	10
	【社会】健康経営・職場環境の整備	11
事業を通じた脱炭素社会実現への貢献 	【社会】サプライチェーン	12
	【社会】SDGs・CASEへの貢献	15
	【環境】環境保護活動	16
	【環境】事業部のCSRへの取り組み	17~18
持続可能な企業づくりを推進 	【ガバナンス】コンプライアンス	19~20
	【ガバナンス】リスクマネジメント	21
地域社会活性化の支援 	【社会】地域社会の皆さまとのつながり、モータースポーツへの参加	13
	【社会】バドミントンで地域に貢献	14

ガイドライン・第三者意見

ISO26000

当社では、「ISO26000」の中核主題に沿って取り組みを整理し、CSR報告の拡充に努めています。



GRIガイドライン

本報告書は、GRIスタンダード「Global Reporting Initiative」を参考に編集を行っています。

GRI 200 経済	GRI 400 社会
調達慣行	雇用
腐敗防止	労使関係
反競争的行為	水と廃水
GRI 300 環境	労働安全衛生
原材料	研修と教育
エネルギー	ダイバーシティと機会均等
水と廃水	非差別
生物多様性	強制労働
大気への排出	人権アセスメント
排水および廃棄物	地域コミュニティ
環境コンプライアンス	顧客プライバシー
サプライヤーの環境面のアシスト	社会経済コンプライアンス

第三者意見

東海興業は主に自動車用製品・部品等を自動車メーカー等に供給する、いわゆる「BtoB(企業間取引の意味)」企業です。会社にとっての主要なステークホルダーは取引先企業です。ただ、同社のCSR報告書を読んで気付くのはCSRのステークホルダーとしては、街(大府市等の地域社会)と自社の従業員に視点が定まっている点です。

国際標準化機構(ISO)が定めるCSR規格のISO26000では、CSRの中核主題として7つのテーマを示しています。同社が重視する街(コミュニティへの参画)、従業員(労働慣行、人権)は、これら7つのうち3つのテーマとなります。街と従業員という2つステークホルダーが「健康維持・増進」でつながっている点が、東海興業のCSR活動の最大の特徴だと思います。

従業員の産休・育休取得100%、メンタルヘルス・健康診断の受診率ともに100%、有給休暇の取得日数や平均残業時間等も「ワークライフバランス」の安定レベルにあります。こうした従業員の健康に配慮する経営姿勢とその実績が、同社が拠点を構える大府市の「サステナブル健康都市づくり」をも支える形になっています。「企業市民」としてのCSR活動は欧米社会での主流ですが、街と従業員を「健康」でつなぐ形の企業市民活動は、おそらく海外でも珍しいといえます。

しかし、持続可能な企業価値を作り出す上での最大の原動力が従業員の「やる気」であり、そのやる気は家族を含めた「働き甲斐」から発するとすれば、従業員が市民として、あるいは周辺住民として暮らす街の健

康水準が上向くのは当然です。同社は地域社会の「健康」増進活動として、文化・スポーツ活動等を支援するとともに、防犯CSR活動や、交通事故対策にも力を入れています。それも啓蒙活動にとどめず、従業員と一体となって「安心・安全」の街づくりを展開しています。

大事なことは、こうしたCSR活動や、「従業員・市民」の健康維持増進のための自治体との協働の成果について、住民には当然ですが、地域の他のステークホルダー等にも情報を発信して「見える化」を進めることです。CSR活動を企業内にとどめず、地域社会を巻き込んで展開することが、結局は企業の活動への信頼を高め、企業価値を向上させる好循環につながると期待されます。

付け加えると、同社はアジア等の海外活動も展開しているので、海外拠点での従業員の健康対応と、現地の地域社会との連携も知らせてほしいですね。「健康」での協働の視点は国際的にも通用すると思います。



藤井 良広

元上智大学地球環境学研究所教授、一般社団法人環境金融研究機構代表理事、全国防犯CSR推進協議会議顧問。主な著書に「サステナブルファイナンス攻防」(金融財政事情研究会)、「環境金融論」(青土社)等

東海興業株式会社

〒474-8688 愛知県大府市長根町四丁目1番地

TEL 0562-44-1500 FAX 0562-44-1590

<http://www.tokaikogyo.co.jp/>



この印刷物は環境配慮型
の製品として保証された
FSC森林認証紙を使用
します。

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



印刷インキには、生分解性に優れ、
VOC(揮発性有機化合物)が少なく、
環境に優しい原材料である「植物油
インキ」を使用しています。